

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和7年1月16日

協議会名:須崎市離島航路確保維持検討協議会

評価対象事業名:離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
須崎市	<p>坂内～埋立航路</p> <p>&lt;陸上交通との連携状況&gt;</p> <p>巡航船は地域の小中学生の登下校に合わせた時刻表で運航しており、路線バス等の陸上交通との乗り継ぎ時間は平均すると1時間半程度かかるため、乗り継ぎには不便な状態である。</p>	<p>&lt;前回の評価結果の概要&gt;</p> <p>貸切運航については目標を達成出来ずB評価となっているが、市ホームページ等による情報発信で利用促進を図ったり、観光面でも積極的な受け入れに取り組んだことにより利用者数は目標を達成しており評価できる。運航面でも、荒天による運休以外は目標の運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。コロナ禍が収束に向かいつつある中、引き続き利用者拡大を図る反転攻勢策の計画・準備等、今後の経営改善に繋がる取り組みを期待する。</p> <p>&lt;評価結果の反映状況&gt;</p> <p>定期航路の一般利用については、須崎市ホームページ等での継続的な情報発信を行い利用促進を図った。</p> <p>観光面については、旅行者等への周知や積極的な受け入れに取り組んだことにより、前航路年度および目標値を上回った。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A <p>&lt;坂内～埋立航路&gt;</p> <p>【旅客数(一般・定期)】</p> <p>目標達成率:123.2%</p> <p>目標 :3,074人/年</p> <p>実績 :3,787人/年</p> <p>対前年比 :125.2%</p> <p>対前々年比:124.2%</p> <p>【1便あたりの利用者数】</p> <p>4.2人</p> <p>【運賃収入(一般・定期)】</p> <p>目標達成率:134.5%</p> <p>目標 :899,780円</p> <p>実績 :1,210,160円</p> <p>対前年比 :125.6%</p> <p>対前々年比:147.3%</p> <p>【貸切運航】</p> <p>目標達成率:120%</p> <p>目標 :200,000円</p> <p>実績 :240,000円</p> <p>対前年比 :240%</p> <p>対前々年比:133.3%</p> <p>【収支率】 5.9%</p> <p>対前年比 :1.1%</p> <p>対前々年比:1.5%</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行したことにより、遍路等の利用客が増加した。また定期券を利用する中学生が増加したことにより定期券の旅客数と運賃収入が増加した。</p> <p>貸切運航については目標を達成することができた。国外からの申請も増加しているため、今後についても国内外を問わず広く周知していき、利用促進を図る。</p>	<p>定期航路の一般利用については、須崎市ホームページ等での周知により、一般利用者はもちろん、近隣を訪れた観光客にも定期便を利用してもらえるよう、情報発信を継続する。</p> <p>定期利用の児童・生徒数は、今後も減少し続ける見込みであることから、観光面での利用拡大を目指す。坂内一鳴無間、横浪一鳴無間等の貸切運航を旅行者に広く周知し、ツアーなどの行程に取り入れてもらうことで利用者の増加を図る。また、貸切運航については、近年の燃料費高騰や人件費の増加に伴い令和7年4月より現行の1万円から2万円への運賃見直しを行い、経営改善に努めていく。</p>